

# 製鋼スラグを用いた軟泥土改良工法

## ◇施工手順

1. 対象となる軟泥土を現場にてサンプリングする。
2. 改良後の使用目的に応じ室内試験を実施す  
※修正CBR、コーン指数、一軸圧縮 等
3. 混合比は現場での作業が重機にて実施となる  
25%(3対1)、33%(2対1)、50%(1対1)等  
と作業性を考慮して選定する。さらに、  
3～10日間程度の養生によって改良効果を高め
4. 試験結果により改良材(製鋼スラグ)の混合比と  
養生期間を決定する。
5. 改良材の注文～ダンプ運搬～現場搬入。
6. 軟泥土と改良材の重機混合作業を実施する。  
(プラント不要)  
使用重機：バックホー、ミキシング付きバケット  
スタビライザー 等
7. 混合作業は、極力ムラが無くなるよう実施する。
8. 混合後の改良土は、所定の期間大気養生し、改良効果  
を高める。
9. 現場敷き均し～転圧を実施する。

《完了》

## ◆特徴

- ・ ダンプ運搬が可能である。
- ・ 現場でのプラントが不要である。
- ・ 石灰やセメント系改良材に比べ、発塵が極少である。
- ・ 他の改良材に比べ安価である
- ・ 土量が不足している場合購入量が大幅に減少する。

〈改良前〉



〈ブルドーザーによる混合後の敷きならし〉



〈製鋼スラグ改良材納入状況〉



〈締め固めローラーによる転圧〉



〈スタビライザーによる混合攪拌〉



〈改良後〉



協材砕石株式会社

東海市東海町5丁目3番地 新日鐵住金(株)名古屋製鐵所構内

Tel 052-601-1677 Fax 052-601-3438